# ABC 099 解説

writer: namonakiacc

平成30年6月10日

#### A: ABD

1 回目から 999 回目のコンテストの名前は 'ABC' から始まり、1000 回目から 1998 回目のコンテストの名前は 'ABD' から始まります。

よって、 $N \le 999$  ならば 'ABC'、そうでないならば 'ABD' を出力するとよいです。

```
#include <cstdio>
int N;
int main()
{
         scanf("%d",&N);
         if(N<=999)puts("ABC");
         else puts("ABD");
}</pre>
```

### B: Stone Monument

高さ (1+2+3+...+X) メートルの塔から、西に 1 メートルの地点に立っている塔の高さは (1+2+3+...+X-1) メートルなので、これら 2 本の塔の高さの差は X メートルとなります。 よって、雪の埋もれていない部分の高さが b メートルの塔の高さは、(1+2+3+...+b-a) メートルであることがわかります。

 $(1+2+3+...+X)=X imes(X+1)\div 2$  であることから、雪が  $(b-a) imes(b-a+1)\div 2-b$ メートル積もっていることがわかります。

```
#include <cstdio>
typedef long long ll;
int A,B;
int main()
{
         scanf("%d%d",&A,&B);
         printf("%d\n",(B-A)*(B-A+1)/2-B);
}
```

# C: Strange Bank

 $6^p$  円を 6 回引き出す操作は、 $6^{p+1}$  円を 1 回引き出す操作で置き換え可能なため、 $6^p$  円の形で表せる金額それぞれにおいて、 6 回以上引き出すことは考慮に入れなくてよいことがわかります。  $9^p$  の形で表される金額に関しても同様のことが言えます。

そこで、「 $6^p$  円の形で表される金額」のみで A 円を引き出す場合を考えます。同じ金額を 6 回以上引き出すことはないことから、 $6^i$  円は  $floor(A \div 6^i)\%6$  回引き出せばいいことがわかります。 (ただし floor(x) は x 以下の最大の整数)

残りの「9<sup>p</sup> 円の形で表される金額」についても同様です。

よって、 $\lceil 6^p$  円の形であらわされる金額」のみでいくら引き出すかを全通り試すと、正解を得ることができます。

### D: Good Grid

(i+j)%3 = 0,1,2 の場合の色の組み合わせを全列挙すると、最大で  $30 \times 29 \times 28 = 24360$  通りです。

これら全ての組み合わせにおいて、全てのマスを確認すると時間内に正解を得ることができません。

そこで、(i+j)%3=0,1,2 の場合それぞれにおいて、どの色で最初に塗られているマスがいく つあるかをあらかじめ計算しておくと、この部分が O(C) となり、時間内に正解を得ることができます。

```
#include <cstdio>
#define rep(i,n) for(int i=0;i< n;i++)
int N,C,X;
int D[30][39];
int t[3][30];
int main()
        scanf("%d%d",&N,&C);
        rep(i,C)rep(j,C)scanf("%d",&D[i][j]);
        rep(i,N)rep(j,N)scanf("%d",&X),t[(i+j)%3][X-1]++;
        int res=1 << 30;
        rep(i,C)rep(j,C)if(i!=j)rep(k,C)if(i!=k&&j!=k)
        {
                int tt=0;
                rep(1,C)tt+=D[1][i]*t[0][1];
                rep(1,C)tt+=D[1][j]*t[1][1];
                rep(1,C)tt+=D[1][k]*t[2][1];
                if(tt<res)res=tt;
```

```
}
    printf("%d\n", res);
}
```